

♪まちの話題

さくらの回廊にぎわう 北上展勝地さくらまつり

北上展勝地さくらまつりは4月15日から5月6日まで行われました。期間中は、北上川上空を泳ぐこいのぼりが彩りを添えたほか、民俗芸能公演、観光馬車や遊覧船の運航、夜は桜並木のライトアップも行われ、さまざまなイベントがまつりを盛り上げました。

今年の開花宣言は昨年より2日早い4月23日に行われたものの気温の低い日が続いたため、連休後半まで見ごろが続き、昨年より6万人多い47万5,000人の観光客が訪れました。



59回の歴史に幕 平和駅伝継走大会

第59回平和駅伝継走大会(市体育協会主催)は3日、北上陸上競技場を発着点に開催されました。昭和30年に新穀町～江釣子の国道107号線で地域活性化を目的に開催され今回で59回目。市内外の中学生から一般まで61チームの選手444人が参加し、男女8部門で健脚を競いました。

開会式では及川清人同協会会長が「日ごろの練習の成果を発揮してほしい。大会の幕は閉じるが、今後新たな大会を考えていきたい」とあいさつしました。



平成25年5月24日



がいせん チャンピオン凱旋 八重樫東選手母校を訪問

4月8日に世界ボクシング評議会フライ級チャンピオンを奪取し二階級制覇を果たした八重樫東選手の凱旋報告会は1日、母校黒沢尻工業高校で行われました。

三浦俊哉校長がお祝いの言葉の中で「タイトルマッチと同校の入学式が同じ日だった。新入生の記念になる」と話すと、八重樫選手は「黒工はボクシングを始めるきっかけになった場所で素晴らしい仲間と先生に出会えた。みんなも大切な仲間をつくってほしい」と全校生徒に話していました。



防災意識の向上に 北上市消防防災演習

北上市消防演習は4月29日、展勝地公園を会場に市消防団、婦人消防協力隊ら約900人が参加して行われました。

快晴のもとでの分列行進や初期消火訓練、ラッパ隊訓練など日ごろの訓練の成果が披露されたほか黒沢尻幼稚園、更木幼稚園による集団演技も行われ、元気いっぱいの踊りに大きな拍手が起きました。このあと放水訓練が行われるとカラフルに着色された水が放水され、見物客から大きな歓声が上がっていました。

黒沢尻工ボクシング部の後輩にアドバイスをする八重樫選手

放水訓練を空中から見守る県の防災ヘリコプター

— 8 —

地域の景観資産を大切に 上野町新堰水辺公園まつり

上野町新堰水辺公園まつりが4月27日、28日の2日間、きたかみ景観資産に認定されている同公園で開催されました。桜の開花時期に合わせて地域の活性化につなげようと初めて開催。ウォーキングや写真撮影会が行われたほか、第1回を記念し桜の苗木が植樹されました。

同まつり実行委員会の木野義治会長は「何十年後、きれいに桜が咲くことを祈って植樹しましょう」と桜の成長とまつりの成功を祈念していました。



百歳いつまでもお元気で 瀬戸キン子さん

口内町にお住まいの瀬戸キン子さんが百歳を迎え10日、自宅に高橋市長が訪問し祝い状と記念品を贈りました。キン子さんは大正2年5月10日、口内町(旧福岡村)生まれ。21歳で故一二三さんと結婚し子6人をもうけ、孫13人、ひ孫14人に恵まれています。

今まで大きな病気にかかったこともなく、今も身の回りのことは全て自分で行っているそうで「近所の人や、家族の支えがあったのでこの年まで生きてこれました」と話していました。



晴天の下で安全祈願 夏油温泉開き

夏油温泉開きは17日、新緑がまぶしい夏油温泉園地で関係者、一般客など約50人が見守る中行われました。

神事、岩崎鬼剣舞による鬼剣舞奉納の後、夏油温泉開発連絡協議会高橋賢輔副会長は「天気に恵まれ滞りなく行うことができた。良質の温泉と自然を楽しんでもらい、多くの人に喜んでもらえることを祈っています」とあいさつ。また、落語家の樋口強氏による記念講演「いのちの落語」も行われました。



子どもの日みんなあつまれ～！ 鬼の館わくわくイベント

子どもの日を楽しんでもらおうと「子どもの日わくわくイベント」は5日、鬼の館で開かれました。

鬼剣舞やカッパのお面に色を塗る「お面に色付け」や鬼剣舞などの衣装を着る「鬼に変身」、「工作コーナー」のほか、おに丸くんも登場し、握手や記念撮影が行われ多くの家族連れでにぎわっていました。

まわりねずみの工作に挑戦した内館茉音さん(飯豊小2年)は「耳を付けるところが難しかったけどうまくできて楽しかった」と話していました。